

水あそびは指定された安全な場所で行い、危険区域には赤旗がたっています

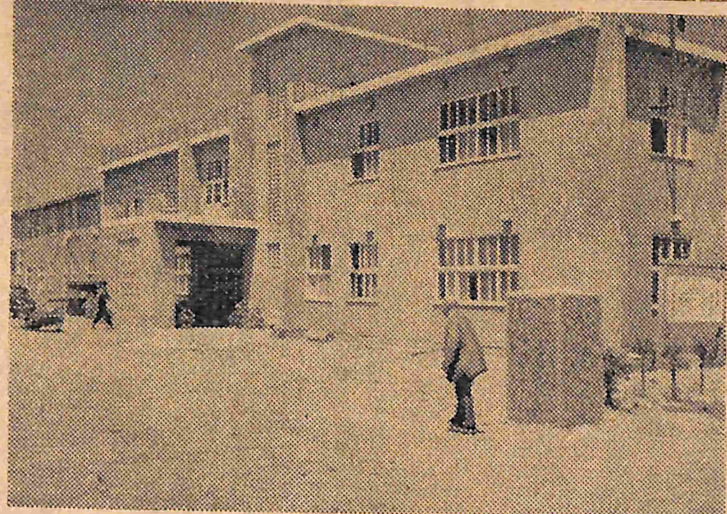
発行所 青森県金木町役場
編集 企画 室
印刷所 東奥日報社事業局

金木だより

八月の長期予報

△気温
とまぎき平年より低くなることとあるが、一般に気温は高めの日が多い。
月平均では平年よりやや高めである。

△雨量
一般に夏型の天候が多く、下旬からは雨が降りやすいため、月の総雨量は大体において平年なみのようである。

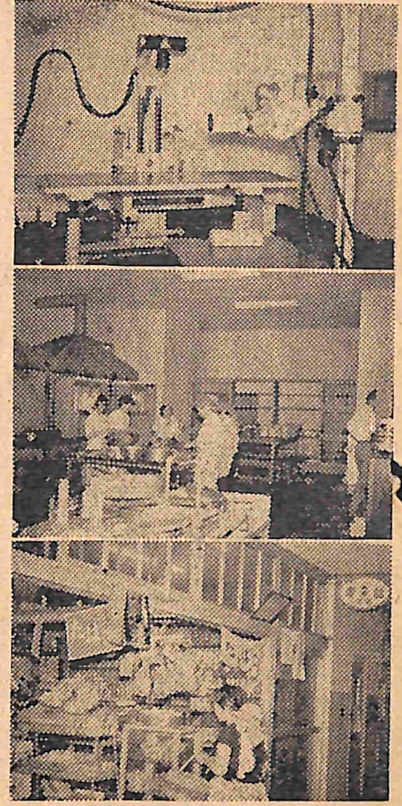


【写真一】四年がかりで完成した近代的な金木病院

金木病院 四年がかりで完成 総工費七千五百万円

近代的な総合病院

無投影電球の手術室など



老朽建築物のうえ、貧弱な設備だった旧厚生農協連から、金木、中里の両町が、昭和三十三年度に買収し、組合立金木病院として新築したのを、翌三十四年度から足かけ四年がかりで、近代化した総合病院とするため、関係者一同努力を続けてきたかきがあり、このほどようやく完成。きたる八月二十四日には竣工式をおこなうことになった。

完成した金木病院は、さる二十三、四国民年金の還元融資で建てられ、請け負業者から引き渡された。診療科目は外科、内科、産婦人科、小児科、泌尿科、放射線科の六科で、一般病棟のベッド数は一〇〇、その他、結核病棟一四床、隔離病舎一四床をもつ郡北唯一の医療センターである。

工事は三期にわけ、第一期工事はうち約六千万円は多額保険料の管理室および入院室、診療室の一部を昭和三十五年完成、昭和三十六年度の第二期工事は診療室、入院室のほか、地下暖房設備を、第三期工事は手術室、レントゲン室、給食設備、ポイラー室などを完成し、落成式をまっぴかりに

勇壮だった綱引き

春を告げた年中行事の一つ

△綱引き
この綱引きは、他町村には見られない金木町独自のもので、当時、ヤマ源（現製陽館）サマの北側のレンガ塀の玄關より窓へ鉄棒のはまった中心として、北は上町、南は下町とにわかれて引っぱりあったものだった。

△思い出
この夜の綱引きは大綱だ。これは昭和五、六年頃まで何百年となく続いてきた私達の町の綱引きの囃し（はやし）である。私は、町の夏まつりが近づくと、春を告げる囃し、またどこどこに残雪のいる頃の数日間の夜空は、この綱引きの囃しとワッショイ、ワッショイの力強、カケ声に活気づけられ、この声がまた私達の町に春を告げたものだった。

△雨
一般に夏型の天候が多く、下旬からは雨が降りやすいため、月の総雨量は大体において平年なみのようである。



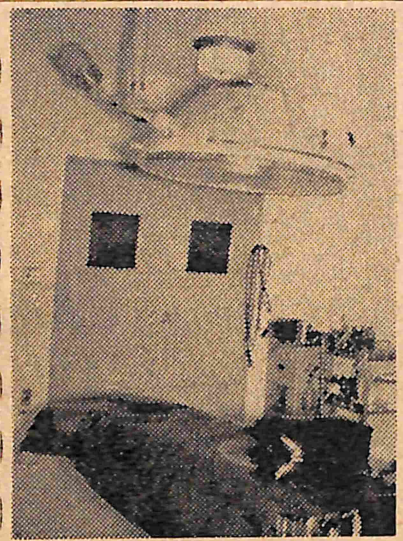
いまこの行事を復活させるとすれば経費がどの位かかるかチョット見当はつかないが、春でなくても夏まつりのときにも実施したらどうなるものだろうか。

（北仙子）

老朽した護岸工事も 揚水機とも830万円の沢部堰

喜良市橋の上流約百位の地点に約七百万円の予算で揚水ポンプをおくとも、本年十一月末に完成するおとろしがつき、沢部堰水利組合ではホットした。このほどさらに、同堰の老朽化した護岸約百位の工事も、予算約八百三十万円と同時に改修することになった。

この工事は、揚水ポンプ工事の付帯工事であるため、八割五分二重の高率補助を国から受けるので、地元負担は揚水ポンプ工事のみの場合とほぼ同額の約二百五十万円位でとまることがなる。護岸工事の場所は南町芳賀理髪店南側



去る二十三日午前十時から役場会議室で金木町国民健康保険運営協議会をひらき、九月一日から給付制限の撤廃を全員一致で決議した。当町では、国保の給付を他町村なつ（入れ替）料なども五割の付給を受けられることになる。

町当局では「ますますでも実施し町民の皆さまに便利を与えたいが受診票（被保険者証）の書きかえや、各医療機関および全国都道府県知事への連絡通知などの事務手続があるため、九月一日実施を目標に準備をすすめる」といっている。

またこの給付制限の撤廃にふきかきることによって、保険料の納入率

九月一日から制限撤廃 給食、入れ歯なども給付対象

みに五割としているが、給付対象としないものもあって、町民から不評をかかっていたが、この制限を撤廃することによって①往診料②入院給食費③寝具費④歯科補綴（入れ歯）料なども五割の付給を受けられることになる。

町当局では「ますますでも実施し町民の皆さまに便利を与えたいが受診票（被保険者証）の書きかえや、各医療機関および全国都道府県知事への連絡通知などの事務手続があるため、九月一日実施を目標に準備をすすめる」といっている。

またこの給付制限の撤廃にふきかきることによって、保険料の納入率

秋季造林申し込みは早めに

受け付け期間八月一日～十日
苗木の種類 スギ、マツ、カラマツ

資 格 五町（五畝）以上の造林実施者
申し込みの際は印鑑を必ず持参してください。

がなくなり、赤字も解消されるとともに、利用者もふえるのではないかと町当局ではみている。

なお国保運営協議会の委員は次のとおりである。

委員長 大橋徳雄
委員 藤元唯広、田中勇吉、沢田茂（以上学識経験者）、安田正雄、嶋海健吉、吉川ツル、秋谷清逸（以上保険医）、泉谷義一、土岐繁一、工藤雅勝、伊丸國豊治（以上被保険者）

金木春秋

昔「半」といって、勤め人は、夏のうちは休みだった。週四時間制にならなくてもいいから、午後は昔ながらに休みたしと思う今日この頃の様だ。

△この頃の役場と警察署の庁舎は、大正初期の建物で約四十年前のもの。この時代の、この型の建物は戦時中の空襲で、そのほとんどが失われ、現在残っているのが珍らしい、と写真家大竹省一氏が五年前来町したとき書いていた。

△この珍らしい建物、しかも当時のしつみれば近代的なスタイルのものでもあったかも知れないが、いまは老朽建物でカタカタだ。そのうえ、冬は寒く、夏は又ツボウ暑苦しいとされている。

△合併後、役場庁舎を新築していいのは、わが金木町のみなだ。「警察署も近く新築するのだからそのそ役場も…」との声も出ていた。

△喜良市十年という言葉が昔あった。だが最近では金木十年々に変わってきている。どうせ遅れてはいるのだから、何をやるにしても腰を落さずして、何年かかってもよいから、よいものさ日本一はかりつくるのではないか。

人口動態

男女計 8,141人 (昭和37年6月30日現在)
8,165人 (推計人口月報による)
16,306人

区分	金木	嘉瀬	喜良市	計	
人口	8,460	4,530	3,316	16,306	
世帯	1,480	813	541	2,843	
異動	出生	16	9	8	33
	死亡	4	2	2	8
	転入	18	2	2	22
	転出	32	9	11	52
婚姻	19	8	8	35	
離婚	1	1	1	3	

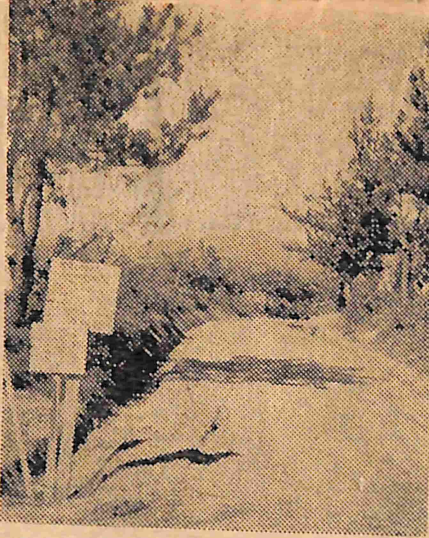
八月下旬には完成

大東ヶ丘開拓道路

念願かない泥道改良

工費二百五十万 観光上プラスの高長根

金木大東ヶ丘間の約二千八百坪の開拓道路は、予算約二百五十万円で改良することになり、高長根高



この原も観光地として、さらに発展するだろうと喜んでいる。この道路は昭和の初期、五所川原農林高校の大東農園開拓当時できたもので、幅員こそ八尺の一見りっぱなものであるが、雨が少しくてもぬれぬれと化す悪路で、町当局も年々大量の砂、砂利を敷いたが、その効果はゼロに近いものであった。

夏の子供を守ろう

青少年問題協議会で話し合う

金木町青少年問題協議会では、去る七月九日午前十時より役員会議室において、夏の子供を守る運動として協議会を開いた。

この日町側からは、田村収入役、桑田厚生課長が出席、同課長の司会で協議が進められ、子供を水難から守るため、第一番にプールを建設すること、社会教育をもっと活発にするには、十六、映写機が必要である、などの意見が出された。

とくに、金中校長より「青少年問題は各学校の方針を並べて討議する段階ではない。町ぐるみの問題として、町当局はもっと真剣に取り組まなければならない」という意見が、指導者としての私たちに責任がある」という強い発言があり、町側および協議会として、

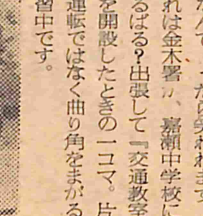
・水難事故の防止
プールの問題は建設促進委員会（今長七氏、高西武男氏、安田百合子氏、米谷基九郎氏、中村美智男氏）に一任、遅くとも来年の夏にはプール開きの運びとなるように、今年はずめて危険区域に赤旗を立てて、注意を喚起し、パトロールを強化する。

・交通事故の防止
各学校の校庭に交通安全専用の広報板を立ててPRする。学校では朝礼の時、交通安全宣言をやってほしいと石田警察署長より提案があった。

・夏季休暇の善用
学校から解放される折角の休暇であるから、伸び伸びと遊ばせたいと、

写真ニュース

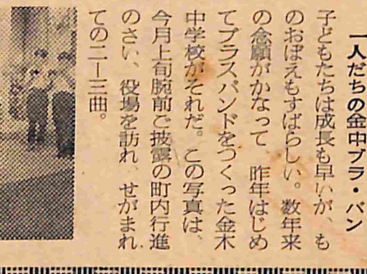
喜中の交通教室



「片手運転はアブナイヨウや」なんて、つらつら笑われます。これは金木署が、嘉瀬中学校に於ける「出張して交通教室」を開いたときの一幕。片手運転ではなく、曲り角をまがる練習中です。



イタコもオガモアツツ中央に、半袖の着た一枚でジュズをかけた手は膝の上のイタコその隣には十年前死んだオトドチャと名の面会をして眼をほらして、オガモアツツ。だが、ハタでみて、人はあまり気分がでないらしい。二十四日、川原アツツの風景。



一人だちの金中プラ・パン子どもたちは成長も早い、もおぼえもすばらしい。数年来の念願がかなって、昨年はいじめて「アツツ」をつくった金木中学校がそれだ。この写真は、今月上旬撮影された町内行進のさい、役場を訪れ、せがまれの二・三曲。

たが、生徒を野放しにしないため、ある程度の学習は計画的にさせなければ、けな。また、キャンプ等は、先生がついて行、場合は許可する。なお、み中先生連は各学区を回り歩く・非行防止

児童委員（民生委員が兼ねて）にもっと活動してもら。地域の問題として、みんなが親身になって考える必要がある。役員は次のとおり。

小校長 米塚俊正（嘉中校長） 飯塚真雄（嘉中校長） 田村雄三（嘉中校長） 高西武男（川小校長） 安田百合子（社協会長） 西村啓次（民協総務） 中村美智男（防犯協会会長） 石田喜久美（警察署長） 米谷基九郎（連合PTA会長） 今与八郎（交通安全協会会長） 棟方兼雄（連合長年副会長） 秋元正博（町議会議員） 〇監事 嶋海健吉（子供万次郎） 高中校長 笹森早苗（喜

37年度産米の価格

37年産米（今秋とれる米）の生産者米価が150キあたり農家手取り平均12,177円にきまりましたが、その経過について次に述べてみましょう。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

米どころの地域にとって生産者米価（農家が政府に売った米の値段）がいくらにきまるかは、直接にひびく重大問題なのです。いくばく運送費作と、これも値段が安ければ農家の生産意欲をよぶことができません。そこで農家の団体である農協は、この要求米価を一万二千七百六十円として各方面を通じて政府に猛運動しました。結局きまった生産者米価は農家の要求を全額は満たしませんでした。それでも昨年の一万一千五百四十円五十銭に比べて千二百四十四円五十銭の値上がりです。千円以上上がったのは九年ぶりです。千円以上上がったのは千円以上上がったといえます。これで本年米から米年ははじめて農家に支払われる米代金は六千億円に達し、昨年より五百六十億円多いのです。

一、二、三、四、五、〇、銭高い

避けられない？配給米値上げ

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

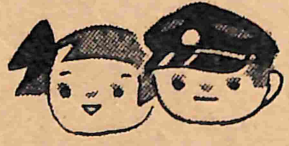
配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

配給米の値上がり 必須

夏休みは健康で楽しく



悪いあそびはやめましょう

勉強や宿題は朝涼しいうちに

校名	休み期間
町内各小学校	7月26日～8月19日
金木中学校	7月30日～8月19日
嘉瀬中学校	7月30日～8月19日
喜良市中学校	7月26日～8月15日

勉強や宿題は朝涼しいうちに

あなたの農業経営はそれでよいか

人間は身体の調子が悪ければ、病気でなだうかた医師の診断を受けよう。
農業経営も、一生懸命働いても生活が楽にならなるときは、どこか病気が（欠陥）があるのではないだろうか、と診断を受けるべきです。
△農業経営診断希望の方は、農業改良普及所農業委員会へ申し込んで下さい。

金木町農業委員会

金木町の集荷目標 8,500 俵

○今年の子約申し込みは7月16日から各集荷業者（農協、商人）で受け付けております。
○概算金は1俵につき800円です。
農家のみなさんへ
今年こそは保有米を除きぜひ全量予約して下さい。

金木町
金木町米穀流通推進協議会
金木町農業委員会